

令和3年度事業報告の件

1. 第10回定時総会実施報告

- (1) 総会の種類 定時総会
- (2) 開催日時 令和3年6月11日(金) 13時30分～14時30分
- (3) 開催場所 東京都港区新橋1-2-6 第一ホテル東京 4階「プリマヴェーラ」
- (4) 出席代議員数 135名 (内訳) 本人出席22名、書面表決113名
- (5) 欠席代議員数 1名
- (6) 出席理事・監事 理事17名、監事3名
- (7) 欠席理事・監事 理事1名、監事0名
- (8) 議題

第10回定時総会における第1号議案から第3号議案すべて承認され、第1号報告から第3号報告を報告しました。

- ・第1号議案：令和2年度決算報告（貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録）の件
- ・第2号議案：任期満了に伴う役員（理事17名、監事3名）の選任の件
- ・第3号議案：本日の決議中必要ある場合、決議の本旨に反しない字句の訂正を議長一任について
- ・第1号報告：令和2年度事業報告の件
- ・第2号報告：令和3年度事業計画の件
- ・第3号報告：令和3年度収支予算の件

2. 令和3年度の代議員について

令和3年度の代議員は136名となります。

地域協会	代議員数	備考
東京都	38	
栃木県	8	
群馬県	11	
茨城県	14	
埼玉県	17	
千葉県	17	
神奈川県	23	
山梨県	4	
静岡県	4	
計	136	

3. 会員の動向

厳しい社会情勢を反映して、令和3年4月会員数8,350名に比べ、205名減少し、令和4年3月末の会員数は8,145名となります。

地域協会	会 員 数			備 考 (新加入)
	4月会員数	3月会員数	増減	
東京都	2,282	2,211	▲71	21
栃木県	523	515	▲8	3
群馬県	662	639	▲23	3
茨城県	866	842	▲24	5
埼玉県	1,035	1,019	▲16	8
千葉県	1,041	1,015	▲26	6
神奈川県	1,404	1,385	▲19	23
山梨県	294	286	▲8	1
静岡県	243	233	▲10	1
計	8,350	8,145	▲205	71

4. 他団体の委員会への参画

4月9日(金)	電気安全関東委員会	幹事会
4月22日(木)	電気安全関東委員会	常任委員会
5月18日(火)	電気安全関東委員会	第65回通常総会
5月20日(木)	電気安全関東委員会	高圧機器施工技術認定委員会
5月26日(水)	日本電気協会関東支部	第11回支部大会
6月22日(火)	電気安全関東委員会	電気安全向上のための連絡会議
7月26日(月)	電気安全関東委員会	電気安全向上のための連絡会議
7月28日(水)	電気安全関東委員会	表彰予備選考会
8月6日(金)	電気安全関東委員会	表彰選考委員会
9月30日(木)	電気安全関東委員会	電気安全向上のための連絡会議
11月16日(火)	電気安全関東委員会	運営委員会
11月22日(月)	電気安全関東委員会	電気安全向上のための連絡会議
1月26日(水)	電気安全関東委員会	電気安全向上のための連絡会議
1月27日(木)	電気安全関東委員会	表彰予備選考会
2月8日(火)	電気安全関東委員会	表彰選考委員会
3月1日(火)	日本電気協会関東支部	運営委員会
3月22日(火)	電気安全関東委員会	電気安全向上のための連絡会議

5. 理事会、常務会、委員会等の開催状況

4月13日	常務会	10月25日	総務・財務委員会 (Web併用)
4月22日	監査会	10月25日	技術・認証委員会 (Web併用)
4月27日	臨時常務会	10月26日	監査会
4月27日	理事会	10月28日	臨時常務会 (Web併用)
5月12日	常務会 (書面表決)	10月28日	理事会 (Web併用)
5月26日	役員候補者選考委員会 (Web併用)	11月 2日	技術・認証委員会 (Web併用)
5月26日	臨時常務会 (Web併用)	11月12日	常務会 (書面表決)
5月27日	臨時理事会 (書面表決)	12月10日	技術・認証委員会
6月11日	常務会	12月14日	常務会
6月11日	電気安全表彰推薦候補選考委員会	12月23日	総務・財務委員会 (Web併用)
6月11日	臨時理事会	1月28日	常務会
6月11日	第10回定時総会	1月28日	関東地区電気エネルギーを考える委員会 (Web併用)
6月11日	臨時新理事会	1月28日	関東地区電気エネルギーを考える委員会主催セミナー (Web併用)
6月30日	内閣府へ令和2年度事業関係報告提出	2月10日	常務会 (書面表決)
7月12日	常務会	3月11日	常務会 (Web併用)
8月10日	常務会 (書面表決)	3月25日	臨時常務会
9月 6日	内線規程講習会講師打合せ会 (Web)	3月25日	理事会 (Web併用)
9月14日	常務会 (Web併用)		
10月12日	常務会 (Web併用)		

6. 令和3年度委員会 (敬称略)

委員会	検討テーマ
総務・財務委員会	全関内「製・販・工連絡会議」の主要テーマの検討
事業推進委員会	住宅電気工事センターの対応実態の把握・評価、及び強化方策の検討
技術・認証委員会	全関技術競技大会の隔年開催の実現に向けた課題点の解決方策の検討

7. 賛助会員（順不同）

本会の事業活動をご支援いただいている賛助会員数は42社となります。

東京電力パワーグリッド株式会社	日本高圧電気株式会社（○）
公益社団法人東京電気管理技術者協会	三菱電機株式会社
パナソニック株式会社（○、□）	株式会社三英社製作所（○）
那須電材産業株式会社	金邦電気株式会社
古河電気工業株式会社	マクセルイズミ株式会社
ミツワ電機株式会社	未来工業株式会社（○）
テンパール工業株式会社（○）	株式会社カワグチ（○、□）
オーデリック株式会社	共立電気計器株式会社
日東工業株式会社（○）	株式会社能一産業（○）
三菱電機住環境システムズ株式会社	イチネンTDリース株式会社
株式会社日本ネットワークサポート（○）	ミドリ安全株式会社
大崎電気工業株式会社	河村電器産業株式会社（○）
ワゴジャパン株式会社（○）	スリーエムジャパン株式会社
内田鍛工株式会社（○）	株式会社西田製作所
株式会社戸上電機製作所（○）	DX アンテナ株式会社
日動電工株式会社（○）	株式会社空調服
株式会社伊藤電気製作所（○）	ヒラキ電計機株式会社
内外電機株式会社（○）	埼玉エンジニアリング株式会社
東神電気株式会社（○）	古河電工パワーシステムズ株式会社
株式会社東光高岳（○）	
株式会社土井製作所	○…優良機材推奨品認定メーカー
大垣電機株式会社（○）	□…全関推奨品認定メーカー
エナジーサポート株式会社（○）	

8. 表彰関係（敬称略）

- (1) 褒章 2名
- (2) 電気保安功労者表彰 経済産業大臣表彰 個人の部（電気工事士） 2名
- (3) 電気保安功労者表彰 関東東北産業保安監督部長表彰 個人の部（電気工事士） 3名
- (4) 電気安全関東委員会委員長表彰の受賞者 計32件名
 - ①電気工事事業者 8社
 - ②電気工事士 19名
 - ③現場第一線従事者 5名
- (5) 優秀施工者国土交通大臣顕彰（建設マスター） 1名
- (6) 優秀青年施工者不動産・建設産業局長顕彰（建設ジュニアマスター） 1名
- (7) 第11回（41回）全関会長表彰 受賞者（46名）
- (8) 主要事業の表彰

事業活動の活性化を図るため、主要事業取り組みの成果について総合評価した結果、1位：埼玉県地域協会、2位：群馬県地域協会、3位：山梨県地域協会を表彰しました。令和3年度の主要事業は以下のとおりです。

- ・ 会員加入促進（評価項目：新規会員加入率）
- ・ 漏電遮断器・感震ブレーカー取付推進運動（評価項目：漏電遮断器取付率、中性線欠相保護機能付き漏電遮断器への取替率、感震ブレーカー取付率）
- ・ 住宅電気工事センター活性化方策（評価項目：受付件数の増加率、即日処理の向上率、不適合電話受付率）
- ・ 不適合工事ゼロ運動（評価項目：8月・2月不適合率、不適合工事の改善率）
- ・ 施工証明制度の定着化方策（評価項目：施工証明書適用率、適用率の向上率）
- ・ 事業管理（評価項目：上記の主要事業等の報告期日）

9. テレワークの実施等職場環境の整備

新型コロナウイルス感染症への予防および働き方改革の一環として、在宅勤務が可能となるよう規程を整備し、現在も継続的に実施しております。

10. 賀詞交歓会の中止

令和4年1月28日（金）に開催を予定していた新年賀詞交歓会につきましては、新型コロナウイルス感染症の急速な感染拡大を鑑み、ご来賓、会員の皆様の健康を第一に考慮した結果、開催を中止しました。

【事業関連】

1. 電気安全・保安推進事業【公益目的事業】

(1) 電気安全保安相談業務

①住宅電気工事センターの運営

電力会社（または国の登録調査機関）が実施する、法で定められた4年に1度の一般用電気工作物定期調査において発見された不適合電気設備の改修相談、ブレーカーが落ちることの相談、コンセントなどの器具の増設・位置変え等、より電気を安全に便利に使うための相談に応じております。

また、住宅電気工事センターを知っていただき、より身近なセンターを目指すためチラシ（453,650枚）を作成し、電気使用安全月間などの諸事業の機会を捉え、配布しました。

②全関東本部による相談の対応

地域や個別案件のご相談ではなく、一般的なご要望やご相談をお受けするための窓口としてホームページを活用した受付フォームを用意しております。こちらへのご相談には全関東本部が対応し、取次が発生した際は各地域協会を通じ各住宅電気工事センターへ連絡し、スムーズな消費者相談への対応に努めました。

(2) 電気使用安全月間への参画

一般用電気工作物の電気災害の防止や保安確保に資することを目的に、令和3年度も経済産業省主唱による「電気使用安全月間」（実施期間：令和3年8月1日～31日）に参画し、本会会員も電気安全の観点から、キャラバン隊による巡回PR、電気相談所の開設、街頭キャンペーン、広報活動等に東京電力パワーグリッド株式会社、一般財団法人関東電気保安協会、その他関係諸団体のご協力を得ながら積極的に取り組みました。

①キャラバン隊の実施や相談所による活動

電気使用者に対し、電気使用安全の啓発活動、節電・省エネに関する情報周知、漏電遮断器・感震ブレーカー取付推進および、電気使用の合理化に関する啓発活動を行うとともに、電気使用者からの相談を受け付けました。

今年は夏祭りやイベントの自粛、中止が相次いだことから、接触を避ける対策を行う中で周知活動を実施しました。また、PR用のツールとしてマスクケース 10,000 枚を配布しました。

キャラバン隊実施回数 38 回、編成人数（延べ人数）332 名、使用車両台数 38 台となり、相談所は 10 箇所開設し、68 件の相談に応じました。

②電気使用安全月間アンケートの実施

電気使用安全月間の啓発活動の一環としてホームページ等により、電気安全に関するアンケートを実施しました。

a. 実施期間：令和 3 年 8 月 1 日～9 月 3 日、全関ホームページまたは各都県のキャラバン隊実施時にアンケートを実施しました。

b. 回答数 80 件

c. 年齢

- ・10 代 (2.5%) ・20 代 (9.0%) ・30 代 (7.7%) ・40 代 (16.7%) ・50 代 (32.1%)
- ・60 代 (19.2%) ・70 代 (9.0%) ・80 代 (3.8%)

d. 性別

- ・男性 (41.3%) ・女性 (58.7%)

Q 1. 環境省では、夏の冷房時の室温は 28 度を目安と定めておりますが、それぞれの取組を教えてください (回答数 80)

- ・28 度に設定している (40.0%) ・効果的なのは知っている (28.8%)
- ・28 度に設定していない (20.0%) ・温度は気にしない (7.5%)
- ・エアコンを使用していない (3.7%)

Q 2. ご自宅の分電盤には漏電遮断器は付いていますか (回答数 80)

- ・付いている (70.0%) ・漏電遮断器がわからない (13.8%)
- ・分電盤がわからない (8.8%) ・付いていない (2.4%)
- ・分電盤や漏電遮断器の両方ともわからない (5.0%)

Q 3. 中性線欠相保護機能付き漏電遮断器はご存知ですか (回答数 80)

- ・知らない (65.0%) ・知っている (35.0%)

Q 4. 自然災害時の電気火災対策の一つとして、一定以上の地震の揺れにより、各家庭の電気の供給を自動的に遮断し、電気に起因する出火を防止する「感震ブレーカー」は知っていますか (回答数 80)

- ・知っている (46.3%) ・知らない (42.5%)
- ・知らないが興味はある (10.0%) ・すでに導入している (1.2%)

- Q 5. コンセントプラグはときどき乾いた布などで掃除していますか (回答数 80)
- ・していない (60.0%)
 - ・している (40.0%)
- Q 6. コンセント差込口が足りず、たこ足配線になっていませんか (回答数 80)
- ・なっていない (52.5%)
 - ・なっている (47.5%)
- Q 7. 分電盤にあるメインブレーカー (漏電遮断器) がよく切れませんか (回答数 80)
- ・切れない (98.8%)
 - ・切れる (1.2%)
- Q 8. ご家庭で取り組まれている節電方法はなんですか (複数回答) (回答数 260)
- ・日中は不要な照明を消す (25.8%)
 - ・照明を LED 電球に変えた (15.4%)
 - ・エアコンの設定温度を調整している (15.4%)
 - ・直射日光を避けるため、すだれやよしずを活用している (12.3%)
 - ・無理のない範囲でエアコンを消し、扇風機等を使用している (11.5%)
 - ・長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜く (10.0%)
 - ・冷蔵庫の設定温度を「強」から「中」に変えた (6.5%)
 - ・リモコンの電源ではなく本体の主電源を切る (3.1%)
- Q 9. 地震の際の二次災害防止 (火災) のため、避難時にメインブレーカー (主開閉器) を切る (復旧時の通電火災の防止) ことや、電気機器のコンセントプラグを抜くことはご存知ですか (回答数 80)
- ・知っている (66.3%)
 - ・知らなかった (33.7%)
- Q 10. 今、エネルギー関連で興味のあるもの、詳しい内容が知りたいものを教えてください (複数回答)
- ①電気事情に関して (回答数 92)
- ・節電や省エネ (43.5%)
 - ・災害対策 (41.3%)
 - ・最大電力を抑えること (15.2%)
 - ・電気料金の値上げ (0.0%)
- ②技能や仕組みについて (回答数 37)
- ・スマートコミュニティ (67.6%)
 - ・HEMS (ホームエネルギーマネジメントシステム) (32.4%)
- ③設備に関して (回答数 68)
- ・太陽光発電 (27.9%)
 - ・エコキュート (23.5%)
 - ・電気自動車及び充電設備 (23.5%)
 - ・家庭用燃料電池 (16.2%)
 - ・ヒートポンプ (5.9%)
 - ・インバーダー組込み機器 (3.0%)
- ④費用面など (回答数 88)
- ・助成金や補助金がある場合の内容や手続き (45.5%)
 - ・施工費 (33.0%)
 - ・機器単価 (21.5%)
- Q 11. 「IoT」 (様々な物がインターネットに接続され相互に制御する仕組み) 技術が進歩し、様々な製品やサービスが提供・検討されております。ご家庭またはご自身で活用したいと思うものを教えてください (複数回答) (回答数 103)

- ・IoTがよくわからない、興味がない (35.0%)
- ・生活家電(エアコン、照明、テレビなど)をスマートフォンやタブレットで自宅内、外から操作したい (28.2%)
- ・自宅の電気使用状況を詳しく知りたい(使いすぎなどの把握) (18.4%)
- ・離れたところで暮らしている両親の生活を見守りたい (11.7%)
- ・IoTを利用したくない (4.9%) ・その他 (1.8%)

Q 1 2. 「施工証明書兼お客さま電気設備図面」を見たことがありますか (回答数 80)

- ・見たことも聞いたこともない (63.8%) ・見たことがある (30.0%)
- ・見たことはないが名前は聞いたことある (6.2%)

Q 1 3. 平成 28 年 4 月から電力小売全面自由化、平成 29 年 4 月からガス小売全面自由化が始まり、お客さま自身で自由に電力・ガス会社を選択することが出来るようになりましたが電力・ガス会社を選択しましたか？

(1) 電力会社 (回答数 80)

- ・選択していない、自由化以前のまま (83.8%)
- ・選択した (16.2%)

(2) ガス会社 (回答数 69)

- ・選択していない・都市ガスエリアではない、自由化以前のまま (94.3%)
- ・選択した (5.7%)

Q 1 4. 電力小売全面自由化で電気工事業者(電気工事店)や住宅電気工事センターに期待することはありますか。(回答数 23)

- ・電力会社を切り替える際の手続きを手伝って欲しい (47.8%)
- ・どの電力会社が良いのか相談に応じて欲しい (43.5%) ・その他 (8.7%)

(3) 漏電遮断器・感震ブレーカー取付推進運動の実施

電気災害防止方策の一環として、昭和 51 年以来「漏電遮断器取付推進運動」に積極的に取り組み、平成 15 年度からは「中性線欠相保護機能付き漏電遮断器」への取替推進に重点を置き、欠相事故の未然防止に努めています。

また、平成 27 年度からは、大地震発生に伴う電気火災事故を防ぐため感震ブレーカーについて広く啓発活動を展開し、平成 29 年度から運動の名称を「漏電遮断器・感震ブレーカー取付推進運動」(実施期間：令和 3 年 8 月 1 日～10 月 31 日)として、関係団体・企業のご支援・ご協力のもと実施しました。

実施にあたっては、推進運動チラシ 200,000 枚、推進運動ポスター 2,000 枚を作成・配布しました。

①令和 3 年度漏電遮断器・感震ブレーカーの取付実績

- ・漏電遮断器未取付のお客さまへの取付台数：843 台
- ・中性線欠相保護機能付き漏電遮断器への取替台数：949 台
- ・分電盤タイプ(内蔵型及び後付型)の感震ブレーカー取付台数：232 台(内 37 台は後付型)

②お客さまアンケート結果

- a. 実施期間：令和3年8月1日～10月31日
- b. 回答数：103件
- c. 年齢
 - ・10代 (1.0%) ・20代 (4.9%) ・30代 (7.8%) ・40代 (12.6%)
 - ・50代 (19.4%) ・60代 (24.3%) ・70代 (17.5%) ・80代以上 (4.9%)
 - ・無回答 (7.6%)
- d. 性別
 - ・男 (60.0%) ・女 (37.9%) ・無回答 (2.1%)
- e. 職業別
 - ・会社員 (35.0%) ・自営業 (13.6%) ・パート (8.7%) ・主婦 (6.8%)
 - ・工事業者 (1.9%) ・公務員 (1.9%) ・保育士 (1.0%) ・土建業 (1.0%)
 - ・団体職員 (1.0%) ・製造業 (1.0%) ・学生 (1.9%) ・無職 (9.7%)
 - ・無回答 (16.5%)

Q 1. 漏電遮断器をご存じですか (回答数 103)

- ・知っている (81.6%) ・知らない (18.4%)

Q 2. ご自宅の分電盤に漏電遮断器は取付けてありますか (回答数 84)

- ・取付けてある (86.9%) ・取付けてない (8.3%) ・わからない (4.8%)

Q 3. 今後、漏電遮断器を取り付けるご予定はありますか (回答数 7)

- ・予定がある (14.3%) ・予定はない (28.6%) ・わからない (57.1%)

Q 4. Q 3で「予定はない」と回答した理由をお聞かせください (回答数 3)

- ・今まで電気トラブルはなかった (100.0%)

Q 5. 中性線欠相保護機能付き漏電遮断器をご存知ですか (回答数 103)

- ・知っている (33.0%) ・知らない (67.0%)

Q 6. ご自宅の漏電遮断器が中性線欠相保護機能のない漏電遮断器だった場合には、中性線欠相保護機能付き漏電遮断器に取り替えますか (回答数 34)

- ・取り替える (73.5%) ・取り替えない (5.9%) ・わからない (20.6%)

Q 7. Q 6で「取り替えない」と回答した理由をお聞かせください (回答数 2)

- ・取り替えに費用をかけたくない (50.0%)
- ・今まで電気トラブルはなかった (50.0%)

Q 8. いままで、漏電遮断器のスイッチが切れたことがありますか (回答数 103)

- ・ある (26.2%) ・ない (73.8%)

Q 9. 漏電遮断器のスイッチが切れた時、あなたはどうしましたか (回答数 27)

- ・家族が操作した (85.2%) ・電気工事店に電話した (7.4%)
- ・自分で調査して直した (3.7%) ・わからない (3.7%)

- Q 1 0. 漏電遮断器が作動した時の対処方法をご存知ですか (回答数 103)
- ・知っている (57.3%)
 - ・知らない (42.7%)
- Q 1 1. 感震ブレーカーをご存じですか (回答数 103)
- ・知っている (67.0%)
 - ・知らない (33.0%)
- Q 1 2. ご自宅の分電盤に感震ブレーカーを取り付けてありますか (回答数 69)
- ・取付けてある (10.1%)
 - ・取付けてない (81.2%)
 - ・わからない (8.7%)
- Q 1 3. 今後、感震ブレーカーを取り付けるご予定はありますか (回答数 56)
- ・予定がある (14.3%)
 - ・予定はない (50.0%)
 - ・わからない (35.7%)
- Q 1 4. Q 1 3で「予定はない」とご回答した理由をお聞かせください (回答数 28)
- ・取付に費用をかけたくない (70.6%)
 - ・いつ起こるかかわからない大震災に備える必要はない (4.2%)
 - ・誤動作で解放になるのが怖い (4.2%)
 - ・ unnecessary 停電は避けたい (4.2%)
 - ・地震時に暗くなったら困る (4.2%)
 - ・分電盤の大きな改修が必要だから (4.2%)
 - ・簡易タイプなら取り付けたい (4.2%)
 - ・機会がない (4.2%)
- Q 1 5. コンセントプラグを乾いた布などで掃除していますか。(トラッキング現象の予防) (回答数 103)
- ・している (42.7%)
 - ・していない (57.3%)

(4) 工事品質向上方策に関する理解活動

①不適合工事ゼロ運動の展開

「不適合工事ゼロ運動」を令和3年8月、令和4年2月に実施し、施工証明書の活用による自主検査実施の徹底を図り、不適合工事減少に向け取り組みました。

本会で把握している不適合工事内容については、依然として接地工事の不適合が過半数を占めており、接地工事の必要性、重要性について周知しました。

- ・令和3年8月は、施工証明書適用率26.3%、不適合工事率0.23%です。
- ・本会で把握できた不適合工事内容の構成は、引込点から分電盤までの配線(4.1%)、分電盤の確認(26.0%)、漏電測定(5.5%)、接地工事(63.0%)、その他(1.4%)です。
- ・令和4年2月は、施工証明書適用率27.6%、不適合工事率0.27%です。
- ・本会で把握できた不適合工事内容の構成は、引込点から分電盤までの配線(2.3%)、分電盤の確認(25.6%)、漏電測定(2.3%)、接地工事(69.8%)です。

2. 内線規程講習会【知識や技術の理解・習得に関する事業：公益目的事業】

(1) 事前打合せ会

下期に各県会場にて開催する講習会に先立ち、講師事前打合せ会を開催しました。

①令和3年度内線規程講習会講師事前打合せ会（午前の部）

- a. 開催日程：令和3年9月6日（月）10時～12時
- b. 開催場所：Web会議（ZOOM）
- c. 出席者
 - ・埼玉県地域協会：2名
 - ・千葉県地域協会：1名
 - ・山梨県地域協会：1名
 - ・全関東事務局：1名
- d. 議題
 - ・内線規程講習会について
 - ・講義内容並びに講義の進め方について
 - ・講習会資料について
 - ・その他

②令和3年度内線規程講習会講師事前打合せ会（午後の部）

- a. 開催日程：令和3年9月6日（月）15時～17時
- b. 開催場所：Web会議（ZOOM）
- c. 出席者
 - ・千葉県地域協会：1名
 - ・山梨県地域協会：1名
 - ・全関東事務局：1名
- d. 議題
 - ・内線規程講習会について
 - ・講義内容並びに講義の進め方について
 - ・講習会資料について
 - ・その他

（2）内線規程講習会の開催

内線工事に従事している電気技術者の皆様に、内線規程について正しくご理解いただき、専門的技術や知識等の普及にご協力いただくとともに、優秀な人材を育むことで、工物品質の向上を図ることを目的に実施しました。

①千葉県会場

- ・日時：令和3年10月6日（水）10時～18時
- ・会場：千葉県電工会館 3階 講習室
- ・講師：2名
- ・受講者数：34名
- ・理解度診断結果：95.5点

②埼玉県会場

- ・日時：令和3年10月14日（木）9時～17時
- ・会場：埼玉電工会館 5階 大会議室
- ・講師：2名
- ・受講者数：30名
- ・理解度診断結果：78.7点

③山梨県会場

- ・日時：令和4年2月25日（金）9時～17時
- ・会場：山梨県電気工事工業組合 2階 研修室
- ・講師：2名
- ・受講者数：21名
- ・理解度診断結果：77.0点

3. ケーブル防火区画貫通措置に関する講習会【知識や技術の理解・習得に関する事業：公益目的事業】

建築基準法で定められた「防火区画等」や、ケーブル防火区画貫通部に関する知識・技術を習得するための講習会を開催し、ケーブル火災の防止に努めるため講習会を実施しました。

- ・日時：令和3年12月14日（火）14時～16時
- ・会場：山梨県電気工事工業組合 会議室
- ・講師：株式会社古河テクノマテリアル 市場開発部
- ・受講者数：48名
- ・確認テスト結果：10点満点中 8.1点

4. 環境理解推進事業【知識や技術の理解・習得に関する事業：公益目的事業】

(1) セミナーの開催

地球温暖化問題やエネルギー消費の増大などエネルギーを巡る情勢が変わる中、効率の良い低炭素なエネルギー利用の推進という新たな社会・環境貢献を強く先導する指導者を育成し、専門的知識を身につけた指導者による、会合や広報誌の活用を始めとした、地域社会に根付く幅広い周知啓発活動を実施することを目的として、以下のとおり、「関東地区電気エネルギーを考える委員会」主催の「セミナー」を開催しました。

- ①開催日時：令和4年1月28日（金）13時00分から14時00分
- ②開催場所：電気工事会館 7階（東京都中央区築地3-4-13）
- ③受講者数：17名（関東地区電気エネルギーを考える委員会委員）

④セミナー

a. 講師

東京電力エナジーパートナー株式会社 販売本部 お客さま営業部 部長

b. テーマ

『カーボンニュートラルに向けた取組みと新たなサービス展開について』

⑤アンケート実施結果

- a. アンケート回答数 100%（回答数 17／来場者数17）
- b. 設問への回答状況

Q1. 効率の良い低炭素なエネルギー利用を推進する指導者として専門的知識を身につけ、幅広く周知啓発活動を展開していただくことを目的として、本セミナーを開催いたしました。本セミナーは、関東地区電気エネルギーを考える委員会の目的、及び活動趣旨に合致したものであったと思いますか。

- ・そう思う（88.2%）、そうは思わない（0%）、分からない（11.8%）

Q 2. 本日のセミナーの中で、特に気になったもの、関心のあるものについて教えてください。（複数回答可）

- ・第四次総合特別事業計画におけるカーボンニュートラルへの取組 (52.9%)
- ・東京電力エネジーパートナーのカーボンニュートラルへの取組 (35.3%)
- ・法人分野への取組 (17.6%)
- ・家庭分野への取組 (70.6%)
- ・将来的なカーボンニュートラルに向けた取組と展開 (47.1%)
- ・その他 (5.9%)

Q 2-1. ○気になった理由を教えてください。

- ・家庭分野への取組について身近な業務展開が出来る
- ・カーボンニュートラルに向け、東京電力だけでなく顧客、社会を巻き込み共にこの大きな目標に向かう姿勢、方法を示しての講義は大変参考になった
- ・新しいビジネスチャンスが出来るから 他

Q 3. 本日のセミナーで身につけた専門的知識を、どのように周知・啓発しようとお考えですか。

また、どんなことを周知・啓発しようとお考えですか。

○どんなことを

- ・将来的な家庭分野のカーボンニュートラルに向けた取組
- ・カーボンニュートラル社会へ向け、ZEH 導入を工事店と一体となり進めたい
- ・太陽光設備と蓄電池の必要性 他

○どのように

- ・会議開催時に周知していく
- ・機関誌に記事を掲載し周知する
- ・必要に応じセミナーを開催し、講師として来ていただきたい
- ・メーカー、工事店との橋渡しを推進していく 他

【ご意見・ご感想】

- ・個人的にも勉強し、今後の事業推進に役立てたい
- ・今回だけでなく、継続してカーボンニュートラル、SDGs など電気業界としての役割や、未来への展開を発信し続けて欲しい
- ・限られた時間であったが、カーボンニュートラルを取り巻く環境について、網羅的に情報を提供いただき、とても参考になった 他

5. 第 28 回全関技術競技大会の中止【災害復旧応動体制整備事業：公益目的事業】

令和 4 年 2 月 2 日（水）に第 28 回全関技術競技大会の開催を予定し、関係団体・企業にも後援・協賛をいただき準備を進めてまりましたが、新型コロナウイルス感染症の急激な拡大により、出場選手をはじめ大会関係者、ご来賓、見学者等の健康と安全を第一に考え開催を中止しました。

6. 非常災害時の連絡体制整備【災害復旧応動体制整備事業：公益目的事業】

本会が定めた「局地的災害発生時対応実施要領」に基づき、非常災害時の連絡名簿を刷新しました。

また、各地域協会、各エリアにおいて、災害対応電気工事店および東電 PG 支社等組織外連絡リストを整備・刷新しました。

7. 工事請負等の業務支援に関する事業【収益事業】

(1) 引込線関係請負工事店の安全研修・安全パトロール

引込線関係請負工事店の安全研修への全員参加の徹底、安全パトロールの効果的な実施とともに、引込線関係請負工事契約を希望する工事店の推薦業務を実施しました。

令和3年4月～令和4年3月実績

推薦希望 工事店数	新規・変更（延べ）	381 社
	更新	3,123 社
	計（延べ）	3,504 社
安全研修		198 回
安全パトロール		82 回

(2) 引込線工事店におけるフルハーネス配備状況および特別教育の確認

全引込線工事店に対し、柱上作業員のフルハーネス等配備状況および特別教育の受講について確認を実施しました。

(3) 第2期フルハーネス等の斡旋

本会の賛助会員にご協力いただき、8月1日～12月20日の間でフルハーネス等の購入を希望する会員工事店38社に対し斡旋を行いました。

8. 電気機器材料の品質向上に関する運営および使用推奨の普及活動、また関係団体との情報交換に関する事業【収益事業】

(1) 優良機材推奨品認定制度の運営について

令和4年3月末の認定件数は、新規4件、更新11件、部分変更5件となりました。

9. 新規事業への取組【収益事業】

(1) テプコカスタマーサービス株式会社と協業した受電設備サービスの実施

「高圧受変電設備新設・更新工事」見積業務等を継続して実施しております。

また、受注件数が少ないエリアにおいては、テプコカスタマーサービスより当該エリアの契約工事店に対し案件掘り起しに向けたヒアリング等を行いました。

(2) 東電タウンプランニング株式会社と協業したEV充電等機器設置に関するコンサルトの実施

EV充電等機器設置の工事一括受注を目指し、東電タウンプランニング株式会社と協働し収益事業化への試験的实施として、設計書の作成業務を実施しました。

今後、事業化実現に向け更に、検討を進めてまいります。

(3) 一般財団法人関東電気保安協会との協業事業の検討

一般財団法人関東電気保安協会が管理する受変電設備の清掃業務について、協業事業として実現に向け関係各所と調整を図っております。